

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“許せない東労組の人権蹂躪・三鷹電車区事件!”

「三鷹電車区で何があったのか!」

J R 連合は今、シリーズ「検証・浦和電車区事件の真実」をホームページ上で展開しているが、その1年前に浦和電車区よりもひどい東労組による人権蹂躪があった。その被害者・佐藤久雄さんの当時の日記から再現し、すべてのJ R 東日本社員の皆さんに事実を訴えたい。それは、規律ある職場秩序を確保し、社員がお互いに信頼し合い、安心して働ける職場を築くためである。

第24回 支援隊が作成した実録ビデオ ④

画面の流れ	テロップ	画面	画面の説明	ナレーション(音声反訳)
	「支援隊が現場長(Y副区長)に嚴重抗議」乗務を終えて退区しようとする佐藤さんを追って東労組組合員20人くらいが正門前に押し寄せた。そこで佐藤さんを待っている支援隊と衝突。そこにY副区長が割って入った。		支援隊はくく正門の中に入っておらず、副区長に職場規律の厳正を訴えた。	【音声反訳】※複数声が入り混じり良く聞き取れない 支援隊「(副区長に対して)正常な点呼をしていないのでは。我々の中へ入れないのでわからない」副区長「ちゃんとやっています」支援隊「いや、このあいだ本人に聞いたら、後ろでワーワー言われて助役の声が聞こえない。それでも本人は一所懸命聞き取っていたと。本人が言ってたよ」(※副区長の後ろにいる東労組組合員がワーワーと騒ぎ立てる)支援隊「正常な点呼じゃない」東労組役員「オマエら(点呼)見てねえんだから、わかんねえだろ!正常な点呼ってなんなんだよ!楽しくやれば正常な点呼なんかよ!」(※また、東労組組合員がワーワーと騒ぎ立てる)副区長「…三鷹電車区では同じような取り扱いをしている。同じようにやっている」東労組組合員「終わったら帰れよ!さっさと!」支援隊「仕事をしに来たから、佐藤久雄さんは。仕事をさせて下さい。それだけなんです。普通どおり仕事させてもらえばいいだけなんです。たったそれだけの話なんです。それだけのこと、どうして聞けないの。職場で密室でいじめたさ。それを見て見ぬふりしてんじゃないの」副区長「ちょっとそれは我々に対する…」支援隊「我々は何かしましたか。ここで久雄さんが来るのをまっているだけでしょ。ワーワー騒ぎましたか。(彼らのように)公園でみんなを回んで何かやりましたか」副区長「そうそう。ですから、みなさんに対してどうのこうのは何も言いません。私どももできる範囲でやっています。」支援隊「一所懸命やっているんならわかるけど、そうじゃないでしょう。犯罪行為まで起きているのですよ。ここの中で…」
	「やっと一日が終わる」		乗務終了し、三鷹駅から三鷹電車区へ向かう場面。	

グリーンユニオンは東京地本を中心に支援隊を組み、出勤対策、添乗対策、退勤対策など、佐藤さんを守る闘いを展開してきた。この闘いは多くの仲間の共感を呼び、支援隊の輪は仙台、新潟、横浜、千葉へと広がって行った。すでに延べ動員人員は300名に達している。これに対して東労組は、電車区構内という密室の中で、相変わらずの罵声で佐藤さんを毎日つるしあげるといふ、いやがらせ行動をつづけている。これはもはや平成の三鷹事件である。東労組のなれの果ての姿が透けて見えてくる。佐藤さんは闘いつづけている。そしてグリーンユニオンは佐藤さんを守りつづけている。それを会社も見ている。J R 東労組の良識ある組合員もじっと見ている。この闘いは佐藤さん個人の闘いではない。東日本、民主化の大きな突破口となる闘いなのだ。だから負けられない。相手も必死で抵抗するだろう。三鷹電車区事件は、いまJ R 東日本で起きているさまざまな事象の、一つの事例に過ぎない。いつまでもこのような状況が許される訳はないし、許してはならない。J R 連合と加盟各組合は、三鷹電車区での闘いを、人権を守る闘いと位置づけ、J R 東日本の民主化を一刻も早く実現するために、内外にアピールしている。逃げてはいても始まらない。今こそ、お客さまに愛され親しまれる鉄道を作り、J R 労働者の幸せを実現しよう。そのために、勇気をもって、たくましく前進して行こう!

フィナーレ